

ニ中スピリッツ

【学校教育目標】
「つくる（創造） みがく（実践）」

帯広市立帯広第二中学校

スマートフォン・タブレット・ゲーム機 の利用時間を自己管理（自制）し、 マナーに沿った利用ができる生徒に

情報端末の適切な利用についてご家庭でのルールを確認ください

本格的な降雪の時期を迎えました。室内で過ごすことが多くなるこれからの時期に向けて、本校で行った実態調査から見てきたことを保護者のみなさまと共有したいと考え、お知らせします。

8月の段階で行った「情報機器所有状況とインターネット活用調査」。これにより見てきたことは、

＜帯二中生徒の傾向＞

- ①情報機器は娯楽としての利用が圧倒的
- ②グループLINE等で会話しながら学習
- ③学習時間・睡眠時間を犠牲にしていると自覚

さらに11月の「授業参観・教育懇談会」の際にこんな声が寄せられました。

「子どもたちのスマートフォン（LINE等）の利用について、

※利用に際限がなく、学習の妨げになっている。

※誹謗中傷とともれる書き込み、プロフィールが見られる。

※勝手に友人の写真を加工するなどの行為が見られる。

友人とのやりとりが頻繁に行われ、通話相手の都合（学習時間・睡眠時間）に関係なく連絡をとりあっています。

利用者個人（生徒自身）のモラルや相手のことを考える思いやり・気遣いが大切だと考えます。

本校でも、道徳で「SNS 人との正しい関わり方を考える」を取り上げ、指導をしてまいりましたが、8月の調査、11月末の教育懇談会での相談。この様子からも継続した指導が不可欠です。

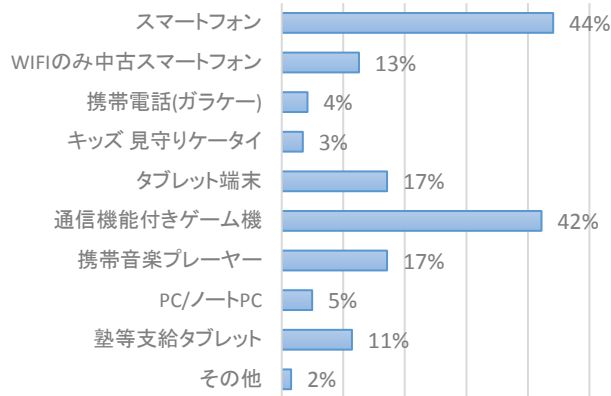
各家庭でのご指導もお願いします。

各ご家庭で話合っていたいただきたいこと

- 利用時間について（時間管理ができていますか）
- 通話相手とやりとりの時間帯について
- 学習時間が確保できているか
- 睡眠の妨げになっていないか
- 相手や周囲に不快な言葉やメッセージのやりとりはないか
- スマートフォンやタブレットを手放すことができるか

95%のご家庭でインターネット・情報機器を利用 平日で2時間 祝休日で4時間程度 の利用時間

情報機器【専有】状況 2018/8(全校)



・本校生徒の8月の段階で、スマートフォンを個人で所有している割合は44% (携帯電話所持率 51%)

・次いで通信機能付きゲーム機は42%を個人で所有している (男女別にも、男子生徒のゲーム所有率の高さが女子の2倍)

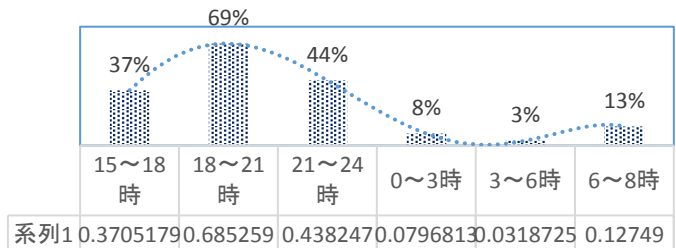
・タブレット所有率は高まりを見せ、PCの9倍

<学年別>

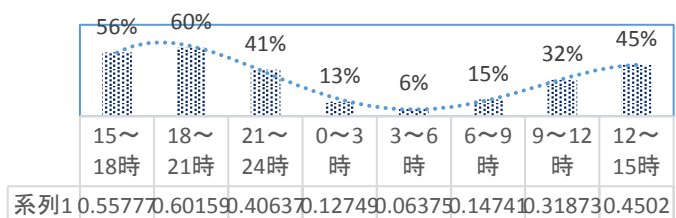
・中3生徒のスマートフォン所有率は高い

・中2のゲーム所有率の高さが特徴

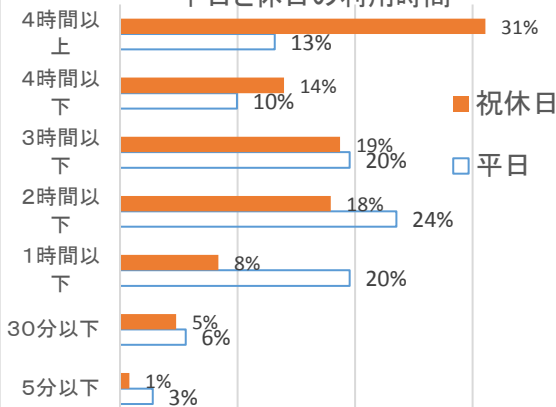
平日利用時間帯



休日祝日の利用時間帯

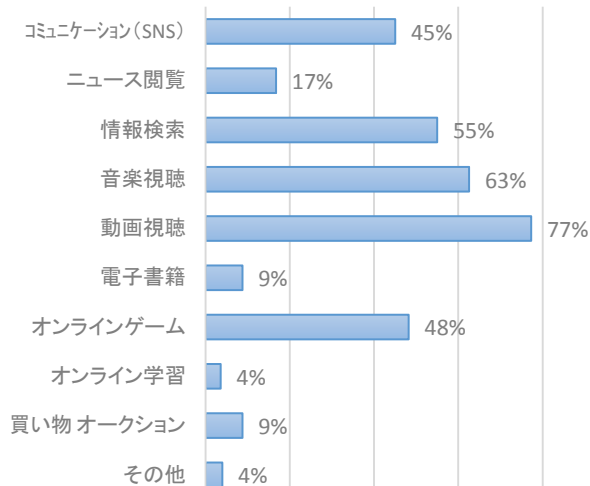


平日と休日の利用時間

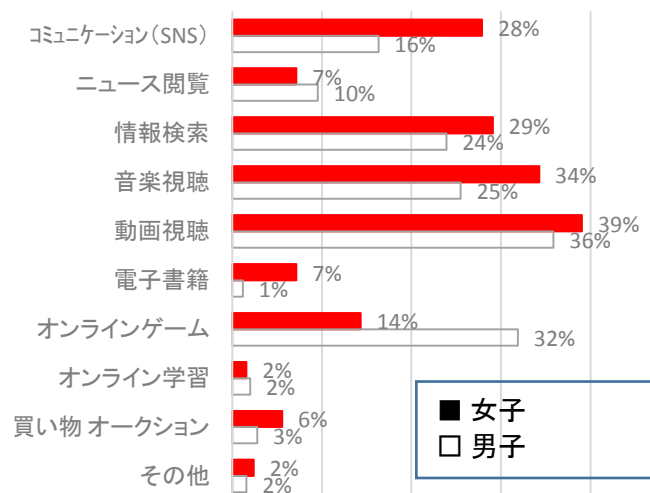


利用目的は ” 娯楽 ” が中心

インターネット利用目的



インターネット利用目的(男女別)



【インターネットの利用目的】

- ・『動画視聴』『音楽視聴』『コミュニケーション』『オンラインゲーム』 娯楽目的が中心
- ・情報検索の中心的なツールである

<男女別>から

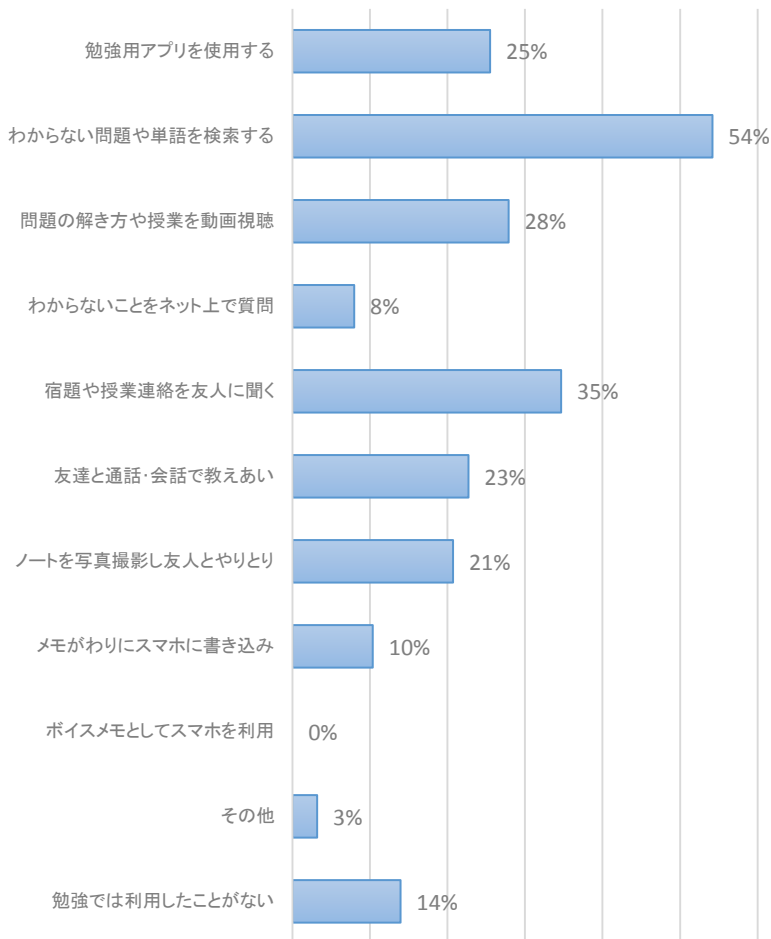
- ・男子はオンラインゲーム
- ・女子はコミュニケーション (女子の積極性がうかがえる)

学習機の傍らにはネット接続端末 オンライン学習は少数

調べるより友人に聞く・・・という実態

学習時間・睡眠時間が犠牲・・・という自覚

情報機器を活用した学習活動の経験



【情報機器の学習への利用】

- ・わからないことを手軽に検索している様子
- ・『友人に聞く』が多いことから学習利用もするが、コミュニケーションも取っている

これにより「**集中した学習環境が整っている**」とは言えない

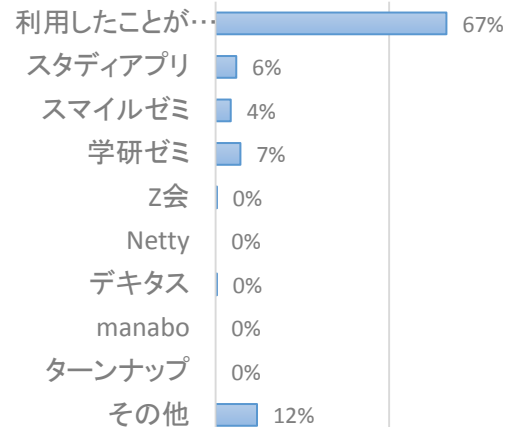
【オンライン学習】

- ・利用したことがない生徒が多い

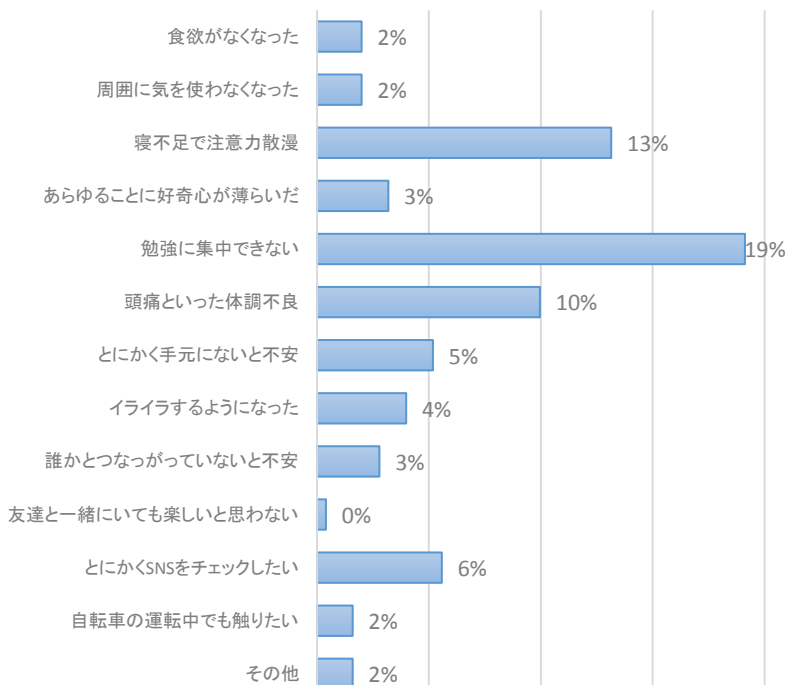
【経験のある感覚】

- ・20%が学習に集中できない
- ・寝不足、自制できない様子、体調不良 も見える

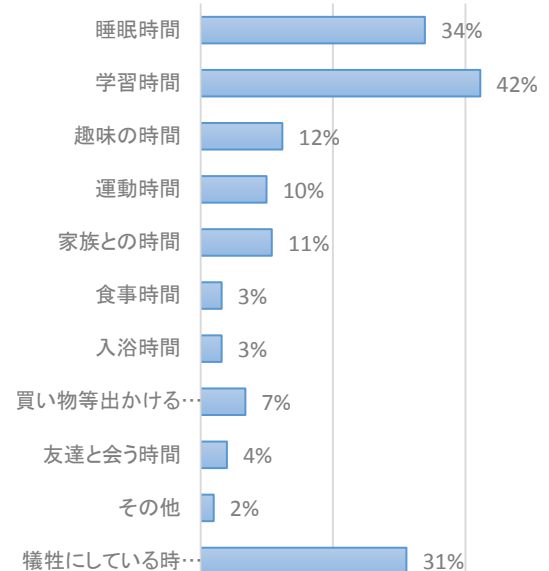
オンライン授業の経験



経験のある感覚



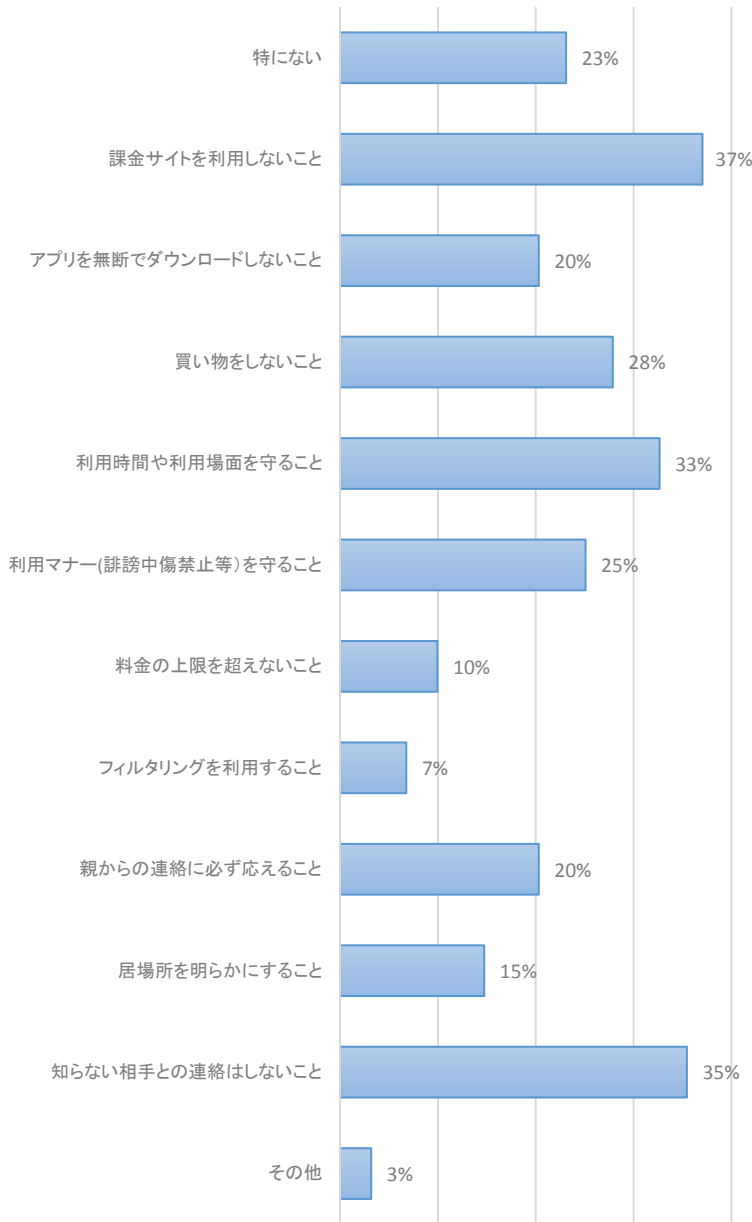
依存の自覚【犠牲にしている時間は？】



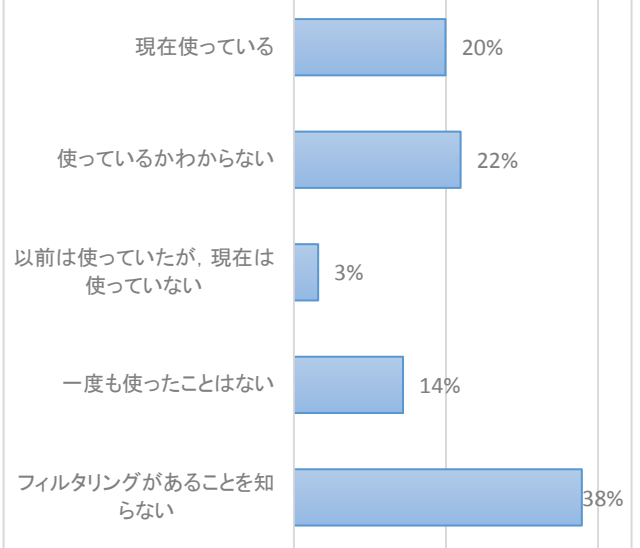
※※今回の「ネット利活用アンケート」(詳細)については、本校HPにも掲載いたしますのでご覧ください。

**使いすぎと注意を受けている実態 → 学習時間を確保/利用時間帯を周知
「姿勢」「視力」「起床就寝時間」についても懸念
フィルタリングについて「知らない」「わからない」 60%**

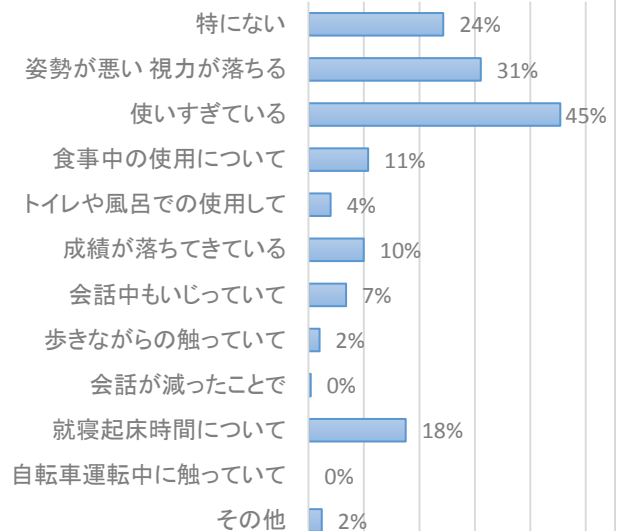
家庭内の使用ルール



フィルタリングについての意識



保護者からの注意



【北海道警察HP】 北海道警察本部 少年課非行対策係 ～子供をネット犯罪から守るために～より

■保護者の方々へのお願い■

インターネットへの接続によって、子供が有害なサイトに入り込んで、犯罪に巻き込まれたり、安易な書き込みにより、犯罪の加害者になることがあります。

保護者の方々には、携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤーの機能について、よく理解し、子供が安全で安心して利用できるように、フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定をお願いします。



■家庭でのルールづくり■

子供がトラブル等に巻き込まれないためにも、家庭でのルールづくりをお願いします。

◆家庭のルールの例◆

- 利用する時間を決める。(朝7時から夜10時までなど)
- メールはアドレス帳に載っている友だちだけにする。
- 掲示板などに個人情報や悪口を書き込まない。
- アプリのインストールや各種設定を変更する時に必要なパスワードは保護者が管理する。



など